

取扱説明書

用途

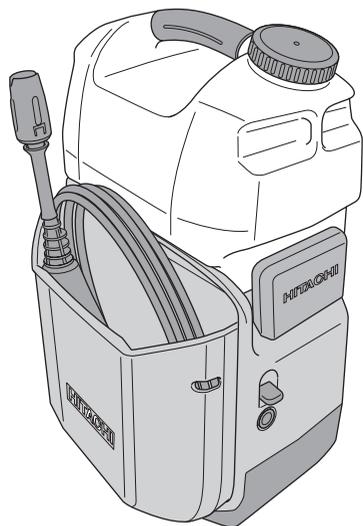
- 網戸、窓ガラス、床面、外壁などの洗浄
- 自動車、オートバイの洗浄
- 園芸用具、農耕具などの泥落とし

日立 コードレス高圧洗浄機

14.4V AW 14DBL

18V AW 18DBL

このたびは日立コードレス高圧洗浄機をお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



コードレス高圧洗浄機の安全上のご注意	…1
リチウムイオン電池の使用上のご注意	…7
各部の名称	…9
仕様	…10
標準付属品	…11
別売部品	…12

はじめに

充電する	…13
ご使用前の準備	…15
タンクの取付け・取りはずし	…17
蓄電池の取付け	…18
電源ランプの表示について	…19
電池残量について	…20
1充電あたりの作業量について	…21
オートパワーOFF機能について	…21
バリアブルノズルの使い方	…22
洗浄する	…23
水道から給水する場合	…25
溜め水を使用する場合	…27
作業が終わったら	…29

使い方

保守・点検	…31
故障かな…というときは	…33
ご修理のときは	…裏表紙

その他

⚠️ 危険、⚠️ 警告、⚠️ 注意、📌 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠️ 危険」、「⚠️ 警告」、「⚠️ 注意」、「📌 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠️ 危険 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を即時に負う事が想定される内容のご注意。

⚠️ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠️ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠️ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

📌 注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

コードレス高圧洗浄機の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠️ 危険

可燃性の液体(ガソリン・ベンジン等)は絶対に使用しないでください。

- 爆発・発火の恐れがあります。

⚠️ 警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が0℃未満、または温度が40℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。

⚠ 警告

- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
- ③ 蓄電池の端子間を短絡(ショート)させないでください。
- 釘袋などに入れると、短絡(ショート)して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ 感電に注意してください。
- めれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- ⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。
- コードレス高圧洗浄機・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、めれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑥ 保護メガネや防じんマスクを使用してください。
- 洗浄中に跳ね返った飛まつや粉じんなどが、目や口に入る可能性があります。
- ⑦ 洗浄するものをしっかりと固定してください。
- 固定できない軽量物などは、洗浄しないでください。洗浄するものが水圧で飛散して、けがの原因になります。
- ⑧ 洗浄するものに異物の付着などが無いことを確認してください。
- 高圧水流に飛ばされて、思わぬけがの原因になります。
- ⑨ 使用中はトリガガンを確実に保持してください。
- 確実に保持しないと、思わぬけがの原因になります。
- ⑩ トリガをひもや針金などで引いた状態に固定しないでください。
- 思わぬけがの原因になります。
- ⑪ 使用中、噴射口を人や動物、壊れやすいもの、コードレス高圧洗浄機本体などに向けしないでください。
- 高圧水の噴射で、けがや破損の原因になります。
- ⑫ コードレス高圧洗浄機本体や充電器、コンセントなどに水をかけないでください。
- 感電や故障の原因になります。

警告

- ⑬ 次の場合は、コードレス高圧洗浄機の電源スイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。
- 使用しない、または、修理する場合。
 - 付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
不用意に作動すると、けがの原因になります。
- ⑭ トリガに指を掛けて運ばないでください。
- 不用意に作動すると、けがの原因になります。
- ⑮ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑯ 蓄電池を火中に投入しないでください。
- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。
- ⑰ 高圧ホースを抜く前に、機体の水抜きをしてください。
- 不意に高圧水が吐出して、けがの原因になります。
- ⑱ 使用中、機体の不調や異常音、異常振動を感じた場合は、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- そのまま使用を続けると、けがの原因になります。
- ⑲ 落としたり、ぶついたりしたときは、機体に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 破損した機体を使用すると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス高圧洗浄機や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - コードレス高圧洗浄機本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **指定された用途以外に使用しないでください。**
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑤ **きちんとした服装で作業してください。**
 - 作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- ⑥ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス高圧洗浄機は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、常に手入れをしてください。損傷などがあると、けがの原因になります。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⚠ 注意

⑨ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス高圧洗浄機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑪ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、コードレス高圧洗浄機本体や付属品に損傷がないか十分点検し、正常に動作するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- トリガおよび電源スイッチで始動および停止操作のできない場合は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑫ 修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は、コードレス高圧洗浄機本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- コードレス高圧洗浄機本体が熱くなるなどの異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品はモーター部に強力な永久磁石を使用しております。この永久磁石による電子機器への影響について、さらに次の注意事項を守ってください。

注意

- ① ペースメーカーなど電子医療機器を装着している方は、本製品を使用したり、近づかないでください。
 - 正常な動作を損なう恐れがあります。
- ② 携帯電話などの精密機器、磁気カード類や電子記録媒体を本製品に近づけないでください。
 - 誤動作、故障、記録の破損などの原因になります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②、③ の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
14.4V蓄電池(BSL 14 xxシリーズ)の場合：電池電圧8Vまで低下すると停止
18V蓄電池(BSL 18 xxシリーズ)の場合：電池電圧10Vまで低下すると停止
このときは速やかに充電してください。
- ② コードレス高圧洗浄機本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはずし、過負荷の原因を取除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、コードレス高圧洗浄機本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - ・作業中にコードレス高圧洗浄機に付いたほこりが、蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - ・蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - ・保管時、蓄電池は、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

⚠ 警告

- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取出して使用しないでください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
 - 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。

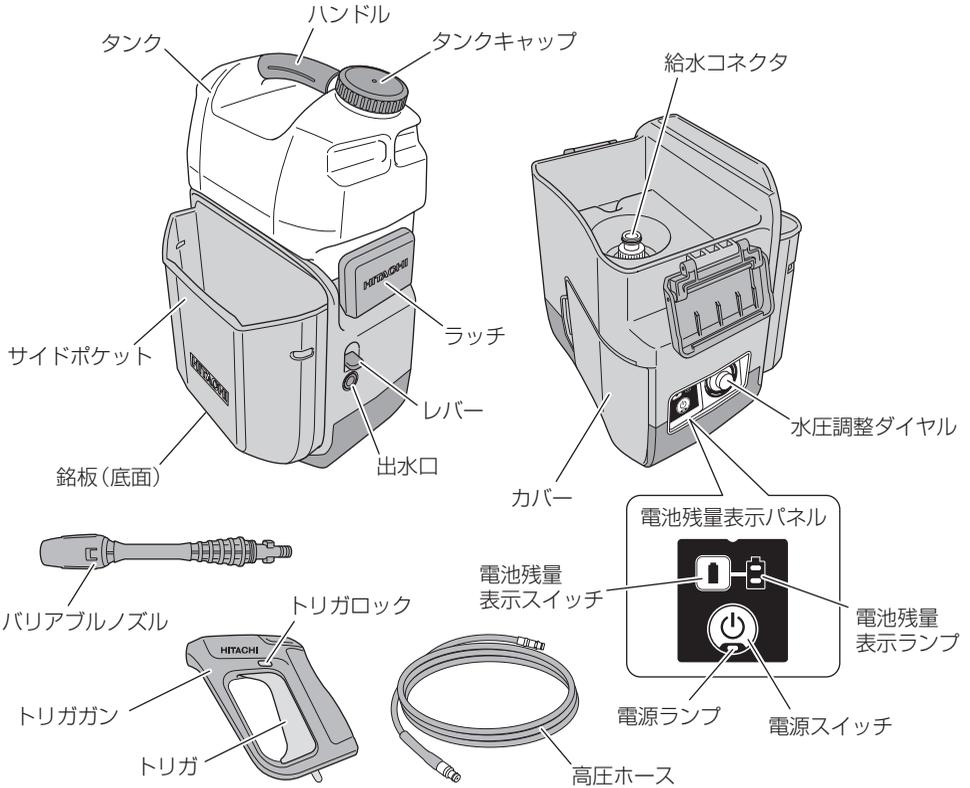


○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

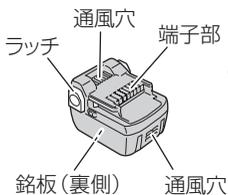
各部の名称

工具体体

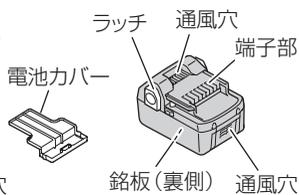


蓄電池

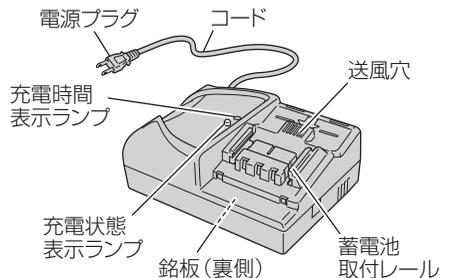
14.4V (BSL1450)



18V (BSL1850)



充電器



仕 様

1. 本体

形 名	AW 14DBL	AW 18 DBL
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池	
	電圧 14.4 V	電圧 18 V
吐 出 圧 力	0.5 ~ 2.0 MPa	
吐 出 水 量	0.5 ~ 1.2 L/min	
許 容 水 温	40℃以下	
給 水 方 法	タンク給水/水道接続/溜め水給水	
タ ン ク 容 量	8 L	
モ ー タ ー	直流モーター	
寸 法 (長さ×幅×高さ)	302 mm× 254 mm× 473 mm	
質 量	4.5 kg (蓄電池、トリガガン、バリアブルノズル、高圧ホース除く)	

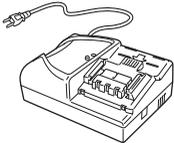
2. 充電器

形 名	UC 18YSL2	
入 力 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V	
充 電 時 間 [気温 20℃時]	BSL 1850 / BSL 1825 / BSL 1450 / BSL 1425	約 35 分
	BSL 1840 / BSL 1440 / BSL 1420	約 30 分
	BSL 1830 / BSL 1430 / BSL 1415	約 22 分
充 電 電 圧	14.4 V - 18 V	
充 電 電 流	BSL 1850 / BSL 1840 / BSL 1830 BSL 1450 / BSL 1440 / BSL 1430	7.5 A
	BSL 1825 / BSL 1425 BSL 1420 / BSL 1415	3.5 A
コ ー ド	2心ビニールコード	
質 量	0.7 kg	
使用温度範囲	0℃ ~ 40℃	
冷 却	対応 (ファン付き)	
ブ ザ ー 音	あり	

3. 蓄電池

形 名	BSL 1450	BSL 1850
容 量	5.0 Ah	
冷 却	対応	

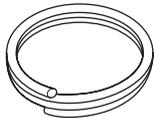
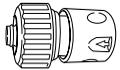
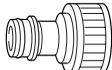
標準付属品

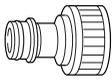
品名・形名	本体仕様	AW 14DBL		AW 18DBL	
		LJC	NN	LJC	NN
14.4V蓄電池 BSL 1450 (電池カバー付)		1個	—	—	—
18V蓄電池 BSL 1850 (電池カバー付)		—	—	1個	—
充電器 UC 18YSL 2		1台	—	1台	—
トリガガン		1個		1個	
バリアブルノズル		1個		1個	
高圧ホース(3m)		1個		1個	
ノズルクリーナーピン		1個		1個	

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

用途に応じた別売部品をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

市販品 は、お買い求めの販売店または、お近くのホームセンターなどでお買い求めください。

水道接続 (P 25「水道から給水する場合」参照)			
水道ホース 市販品 耐圧タイプ 内径 14～15 mm 外径 20mm以下 	ワンタッチジョイント (別売品)  コードNo. 332080	給水コネクタ (別売品)  コードNo. 332081	水道蛇口連結部品 市販品 

溜め水給水 (P 27「溜め水を使用する場合」参照)		
細径水道ホース 市販品 内径 7.5～9 mm 外径 13.5 mm 	ワンタッチジョイント 市販品 (細径ホース用) 	給水コネクタ (別売品)  コードNo. 332081

充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

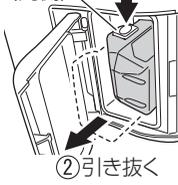
3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P14「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき

ラッチ ① 押す
(両側)



② 引き抜く

• 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。

• 充電を開始すると、充電時間表示ランプが赤／橙／緑の

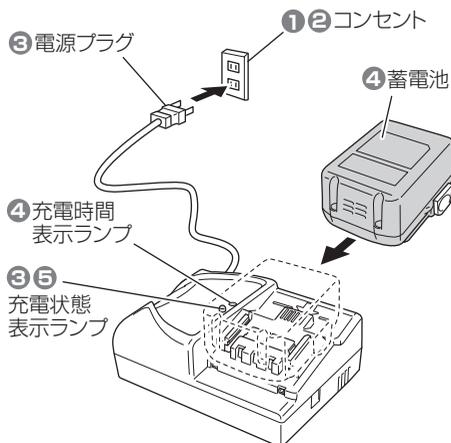
いずれかに連続点灯して、充電完了までの時間をお知らせします。

警告

手順 ①、② については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と 6 秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



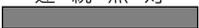
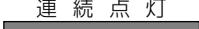
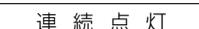
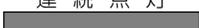
充電時間

BSL1450/BSL1850 : 約35分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電時間の目安を表示する「充電時間表示ランプ」と充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」がっています。各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示		表示内容
充電時間 表示ランプ	赤点灯	連続点灯 	充電完了まで約 30分
	橙点灯	連続点灯 	充電完了まで約 20分
	緑点灯	連続点灯 	充電完了まで約 5分
	赤点滅	0.3秒点灯／0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できません。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
充電状態 表示ランプ	赤点滅	0.5秒点灯／0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	緑点灯	連続点灯 	充電完了
	橙の速い点滅	0.1秒点灯／0.1秒消灯 	充電器または蓄電池に異常あります。 (下記参照)

- 注**・橙の速い点滅(0.1秒点灯/0.1秒消灯)を繰り返し、ブザーが「ピッピッピ」と約2秒鳴るときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取除いてください。
異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
- 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
 - コードレス工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。
すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
 - コードレス工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。
無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
 - 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつかたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。
寿命のつきた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

○新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。

ご使用前の準備

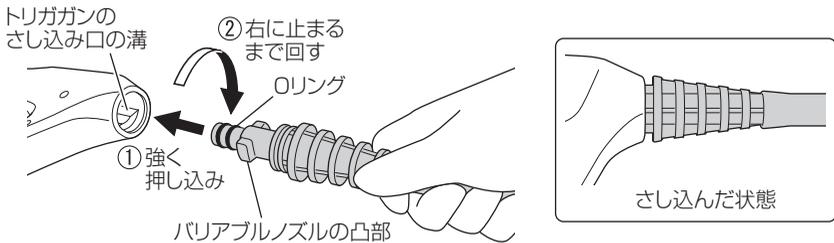
- 注** バリアブルノズルを回すときには、先端部を持たないでください。強い力をかけると、破損することがあります。



1

バリアブルノズルをトリガガンに取付ける

- ①トリガガンのさし込み口の溝に、バリアブルノズルの凸部を合わせてさし込み、そのまま奥に強く押しつけながら、矢印の方向に止まるまで(半回転)回します。

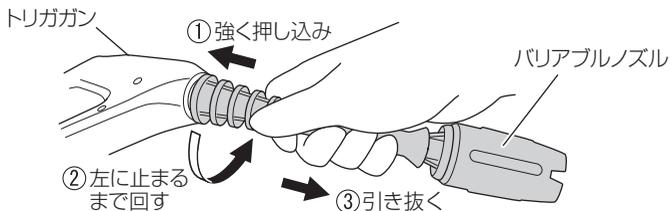


- ②バリアブルノズルを引っ張って、抜けないことを確認してください。

- 注** ・さし込み部分のごみや泥などは取除いてください。
・さし込みがきついときは、Oリング部に水をつけるとさし込みやすくなります。

取りはずすときは

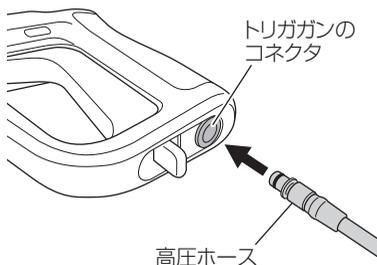
バリアブルノズルを強く押し込みながら、左に止まるまで回して引き抜きます。



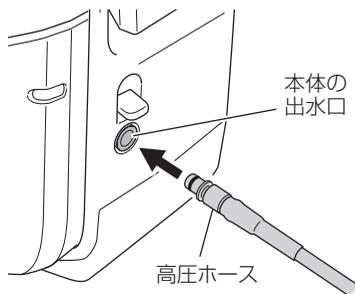
2

高圧ホースをトリガガン、本体の出水口に取付ける

①高圧ホースの両端はどちらも同じ構造です。どちら側を取付けても問題ありません。トリガガンのコネクタに高圧ホースをカチッと音がするまでさし込みます。



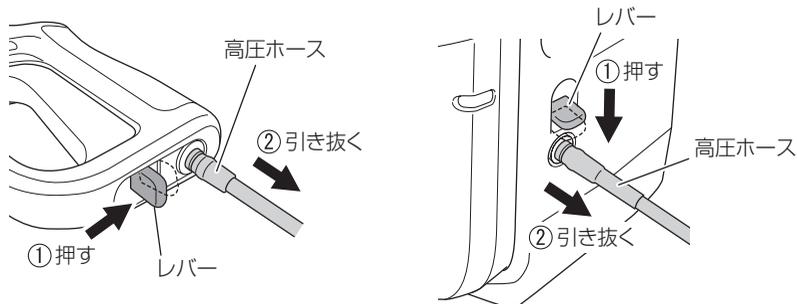
②高圧ホースの反対側を本体のコネクタにカチッと音がするまでさし込みます。



取りはずすときは

注 高圧ホースを抜く前に、必ず水抜きを行ってください。
(P 29 ~ 「作業が終わったら」参照)

レバーを押しながら、高圧ホースを引き抜きます。



タンクの取付け・取りはずし

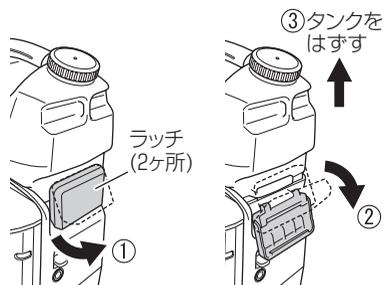
⚠ 注意

水道水（40℃以下）を使用してください。

酸性・アルカリ性の液体や洗剤・農薬などを使用すると故障の原因になります。

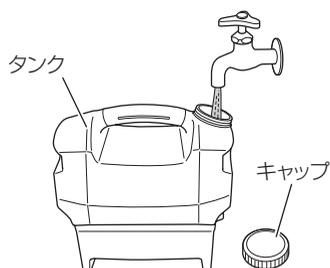
1 タンクをはずす

2カ所のラッチをはずして、タンクを上を持ち上げて取りはずします。



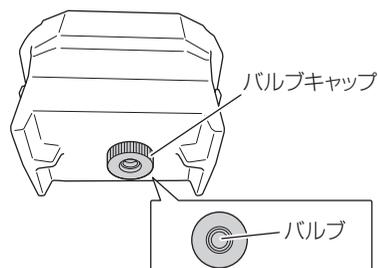
3 タンクに水を入れる

キャップをはずして、タンクに水を入れます。(タンク容量：8L)



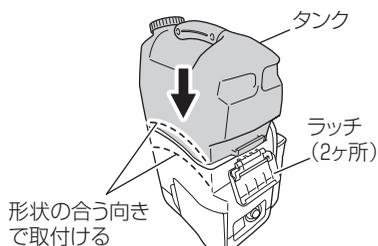
2 バルブキャップの確認

タンクの底面にあるバルブキャップがゆるんでいないことを確認します。また、バルブにごみがつまっている場合は掃除してください。



4 タンクを取付ける

本体と向きを合わせてタンクをさし込み、ラッチ（2カ所）で固定します。



注 本体に水をこぼして場合は、よくふき取ってください。

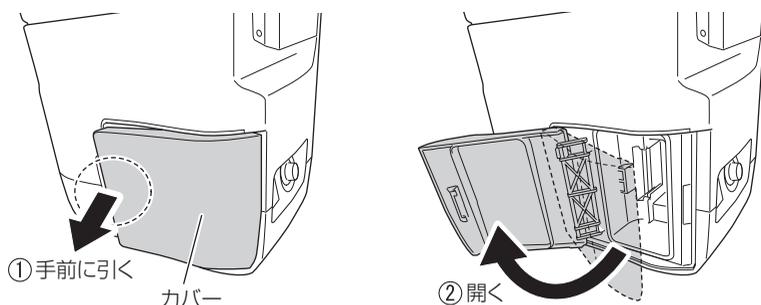
蓄電池の取付け

⚠ 注意

蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、水の吐出が不安定になります。また故障の原因になります。

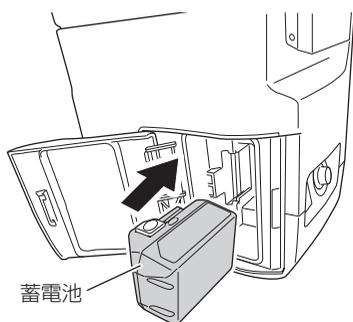
1 カバーを開く

図の位置を手前に引くと、カバーが開きます。



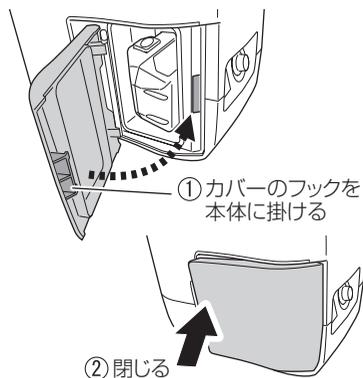
2 蓄電池を取付ける

図の向きで、カチッと音がするまで、
しっかりと押し込んでください。



3 カバーを閉じる

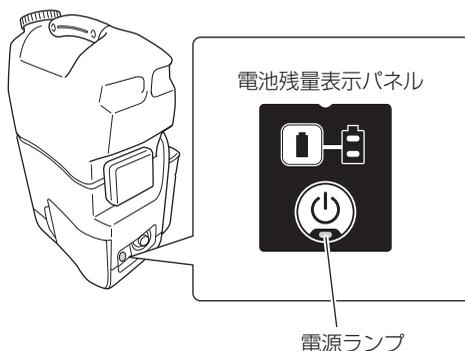
図の位置にあるカバーのフックを本体
側に掛けてから、カバーを閉じます。



電源ランプの表示について

本体に異常が発生した場合には、以下の様に電源ランプの点灯で通知します。

ランプの表示(点灯色：緑)		通知内容	対 策
点灯	連続点灯 	運転可能または 運転中です。	—
点滅	1秒点灯／1秒消灯 	蓄電池が高温に なっているため、 運転停止中です。	点滅を繰り返すときは、使用を中断し、本体より蓄電池を取りはずして、風通しの良い日陰などで十分に冷ましてください。 温度が下がれば、再び使用できます。
速い 点滅	0.2秒点灯／0.2秒消灯 	異常があります。	蓄電池または本体の端子部に異物が入り込んでいないか確認し、異物が入っていた場合は、取除いてください。 それでも速い点滅を繰り返すときは本体の異常と考えられますので、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



電池残量について

電池残量表示スイッチを押すと赤色ランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

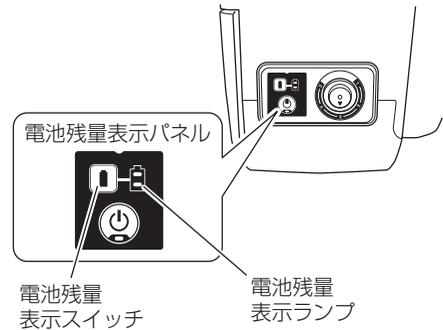
ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

⚠ 注意

電池残量表示パネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。



- 注**
- 電池残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。
 - ランプは蓄電池を本体に取付け、一度スイッチを入れた後でないと電池残量表示スイッチを押しても点灯しません。

1 充電当たりの作業量について

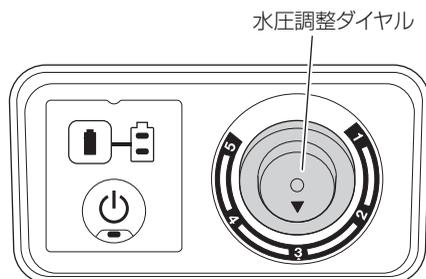
1 充電あたりの作業時間の目安を示します。
(作業時間は、周囲温度、蓄電池特性などにより多少異なります。)

AW 14DBL (BSL 1450 使用時)

水圧調整ダイヤル	1	2	3	4	5
作業時間	150分	120分	90分	60分	30分
8Lタンク	9.4杯	10.2杯	9.6杯	7.7杯	4.5杯

AW 18DBL (BSL 1850 使用時)

水圧調整ダイヤル	1	2	3	4	5
作業時間	180分	140分	105分	70分	35分
8Lタンク	11.3杯	11.9杯	11.2杯	9.0杯	5.3杯



オートパワーOFF機能について

本機には、電池の不要な消耗を防ぐと同時に、不用意な始動、事故などを防止するためオートパワーOFF機能が搭載されています。

オートパワーOFF機能は、以下の状況で作動します。

- 電源スイッチが入ったままで、トリガが引かれず、約30分経過したとき
- トリガが引かれた状態が連続して約30分続いたとき

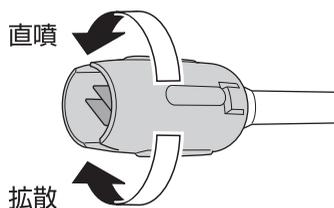
どちらも、再度電源スイッチをONにすれば、使用できます。

バリアブルノズルの使い方

●バリアブルノズル

バリアブルノズルは、ノズル先端を回すと直噴⇔拡散の調整ができます。

ノズル先端を左に回すと「直噴」、右に回すと「拡散」に調整できます。



注 • 拡散の調整は始めに直噴の位置にしておき、トリガガンのトリガを引いて水を噴射しながら徐々に拡散状態を調整してください。

拡散方向に止まるまで回した場合、水が横方向に噴射され周囲に飛び散る恐れがあります。

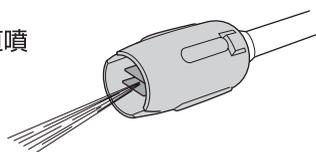
• 直噴⇔拡散の調整を行う際、止まる位置よりさらに強く回すとノズルが破損する恐れがあります。

●直噴洗浄

水流が高圧で直線状に噴射されます。

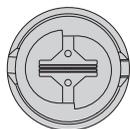


直噴

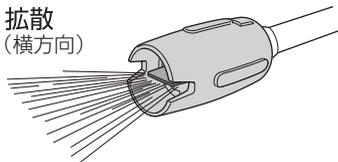


●拡散洗浄

水流が扇状に広がって噴射されます。直噴に比べて、水圧は低くなります。



拡散
(横方向)



洗浄する

- 網戸、窓ガラス、床面、外壁などの洗浄
- 自動車、オートバイの洗浄
- 園芸用具、農耕具などの泥落とし

警告

- トリガを引いた状態で電源スイッチを入れないでください。すぐに高圧水が噴射し、思わぬ事故の原因になります。
- ノズルの噴射口を人や動物に向けないでください。けがの原因になります。
- 電気設備や電気機器の近くで使用しないでください。感電する恐れがあります。
- トリガガンを手でしっかり握って作業してください。
- 高圧ホースを折り曲げたり傷つけたりしないでください。

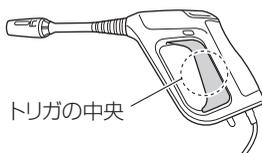
注 ●作業の始めは、洗浄するものから1m程度は離れたところから行き、洗浄するものの状態と汚れ落ちの具合を確認しながら、汚れ落ちが十分でないときには徐々に洗浄するものに近づいていくようにしてください。

水道水圧の7倍程度の高圧水が噴射されます。高圧水により傷がついたり、塗装をはがしたりすることがあります。

- 使い始めは、ポンプ内やホース内の溜まった空気が一緒に放水されるため、水の出方が不安定になる場合があります。そのときは、安定するまで出し続けてください。
- トリガを引いたりはなしたりする操作は、2秒以上をあけてください。圧力スイッチが誤動作する場合があります。
- 本体および蓄電池を車内や炎天下に放置しないでください。

注意

- タンクの水がなくなった場合は、直ちに本体の電源スイッチを「OFF」にしてください。湯水運転となり、早期故障の原因になります。
- 運転を中断するときは、本体の電源スイッチを「OFF」にした後、トリガを引いて水を抜いてください。電源スイッチを「ON」にしたまま放置すると、自動でモーターが再起動することがあります。
- トリガを操作するときは、トリガの中央位置で操作してください。端で操作すると、指をはさんでけがの原因になります。



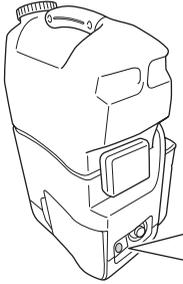
注・タンクが空の状態では本体の電源スイッチを「ON」にしないでください。故障の原因になります。

・本体底面から、水が出る場合があります。屋内での使用は、水が漏れ出ても支障がないように機体を設置してください。

万一、機体内部に水が浸透したときに機体の故障を防ぐ目的で、本体底面に水抜き穴があります。

1 電源スイッチを「ON」にする

「ON」にすると、モーターが起動します。本体内部の水圧が十分になると自動的にモーターが停止します。



電池残量表示パネル

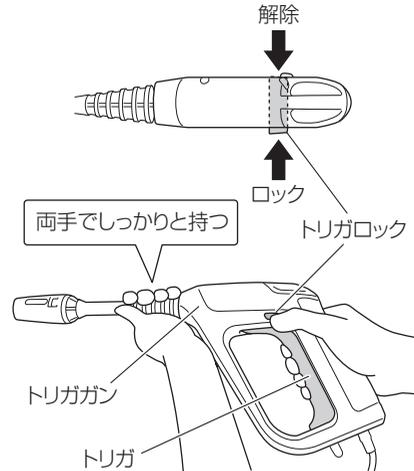


電源スイッチ

2 トリガを引く

トリガガンを手でしっかりと持ちます。ノズルの先端を洗浄するものに向け、トリガロックを解除方向に押し、トリガを引きます。

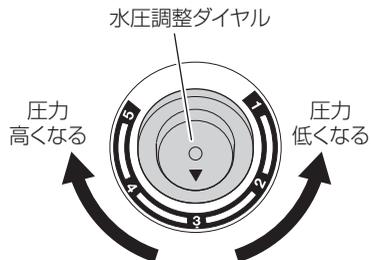
トリガを引いた状態で固定することはできません。



4 水圧を調節する

水圧調整ダイヤルを回して、水圧を調整します。

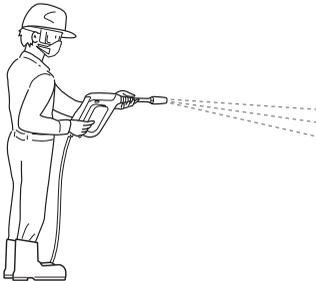
(P 21「1 充電あたりの作業量について」参照)



3 噴射を調節する

用途に応じて、直噴、拡散などを調整してください。

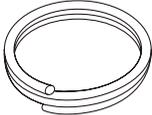
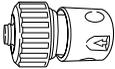
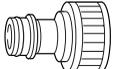
(P 22「バリアブルノズルの使い方」参照)



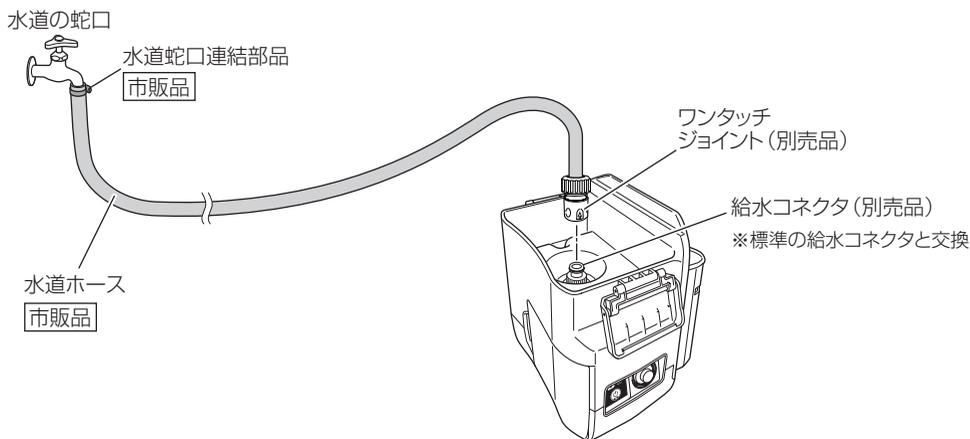
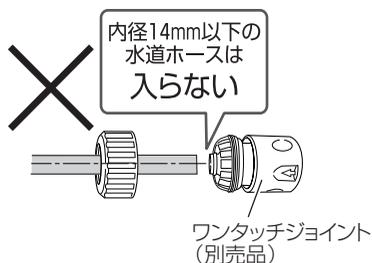
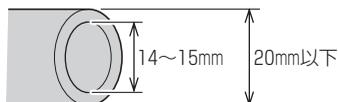
水道から給水する場合

水道から給水する場合には、蛇口に接続した水道ホースにワンタッチジョイント(別売品)を取付け、給水口を給水コネクタ(別売品)に交換してください。

◆用意するもの

<p>水道ホース 市販品 耐圧タイプ 内径 14 ~ 15 mm 外径 20mm以下</p> 	<p>ワンタッチジョイント (別売品)</p>  <p>コードNo. 332080</p>	<p>給水コネクタ (別売品)</p>  <p>コードNo. 332081</p>	<p>水道蛇口連結部品 市販品</p> 
--	--	--	---

注 内径 14 mm 以下の水道ホースは、
使用しないでください。

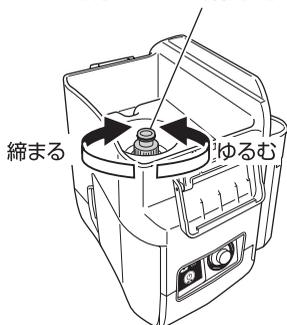


1

給水コネクタを別売部品に交換する

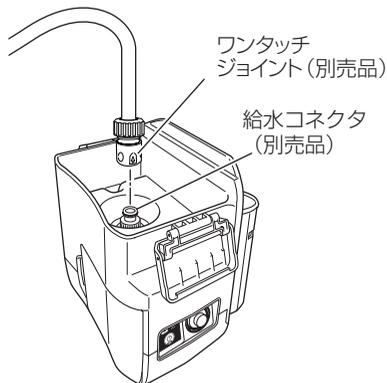
- ①給水口の給水コネクタ(本体装着)を回して取りはずします。
- ②給水コネクタ(別売品)を取付けます。

給水コネクタ(別売品)に交換

**3**

ワンタッチジョイントを給水コネクタにさし込む

ワンタッチジョイントを本体の給水コネクタ(別売品)にさし込みます。

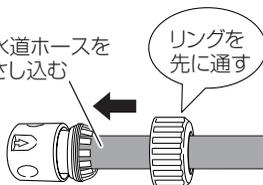
**2**

ホースにワンタッチジョイントを取付ける

水道ホース **市販品** にワンタッチジョイント(別売品)を取付けます。

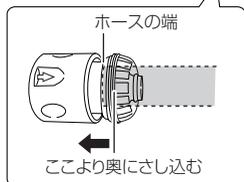
水道ホースをさし込む

リングを先に通す



ホースの端

ここより奥にさし込む

**4**

ホースを水道蛇口につなぐ

連結部品 **市販品** を使ってホースを水道蛇口につなぎます。**5**

洗浄する

水道の蛇口を全開にして、水漏れ等がないことを確認します。

電源スイッチを「ON」にし、トリガガンのトリガを引いて洗浄作業を行います。

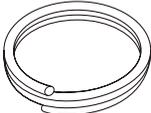
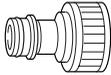
溜め水を使用する場合

⚠ 注意

水道水以外(川や池の水、砂等混じった泥水)は使用しないでください。
故障の原因になります。

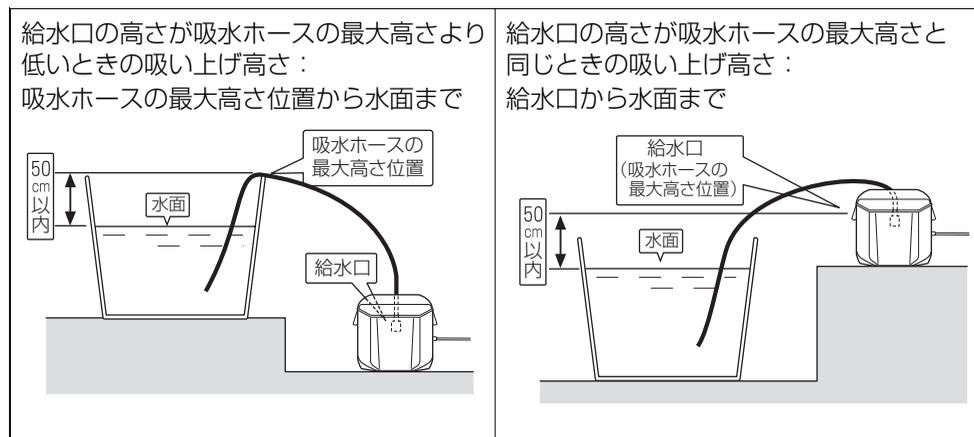
本機は、市販の細径水道ホースおよびワンタッチジョイントを取付けることで、水槽などに溜めた水を吸い上げて使用することができます。

◆用意するもの

細径水道ホース 市販品 内径 7.5～9 mm 外径 13.5 mm 	ワンタッチジョイント 市販品 (細径ホース用) 	給水コネクタ (別売品)  コードNo. 332081
--	--	---

注 内径が9 mmを超えるホースでは、水を吸い上げることができません。

以下に示す最大吸い上げ高さの範囲内に、本機を設置して使用してください。

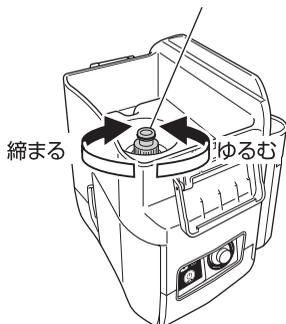


注 給水口と溜め水の水面の高低差が大きいと、水を吸い上げることができません。

1 給水コネクタを別売部品に交換する

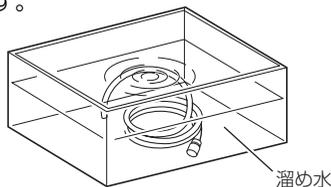
- ①給水口の給水コネクタ(本体装着)を回して取りはずします。
- ②給水コネクタ(別売品)を取付けます。

給水コネクタ(別売品)に交換



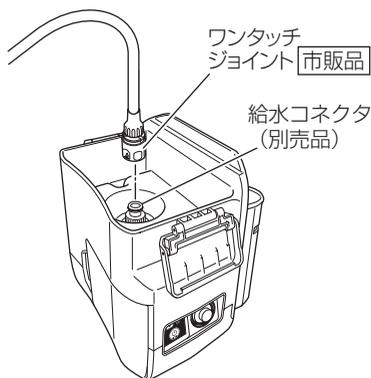
3 ホース内に水を入れる

ホースを溜め水の入った容器に移し、ホース内に水(呼び水)を入れて空気を抜きます。



4 ワンタッチジョイントを給水コネクタにさし込む

溜め水からワンタッチジョイントを取出し、ホース内の水がなるべく抜けないように本体の給水コネクタ(別売品)にさし込みます。

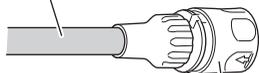


2 ホースにワンタッチジョイントを取付ける

細径水道ホース **市販品** に適合するワンタッチジョイント **市販品** を取付けます。

取付け方法は、ワンタッチジョイントの説明書に従ってください。

細径水道ホース
市販品



ワンタッチジョイント
(細径ホース用)
市販品

5 洗浄する

電源スイッチを「ON」にし、トリガガンのトリガを引いて洗浄作業を行います。

注 2分以内に水が出ない場合は、電源スイッチを「OFF」にしてください。故障の原因(濁水運転)になります。

作業が終わったら

洗浄作業を終えたら、機体内部の水を抜いて、風通しの良い場所に保管し、十分に乾燥させてください。

冬期は機体内部、ホース内の水が凍結する場合がありますので、十分に水気をとった上で、室内で保管してください。

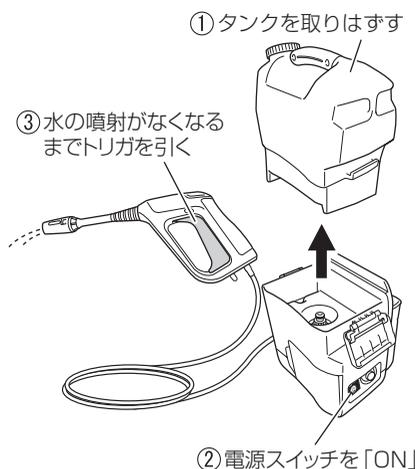
⚠ 注意

使用後は、機体内部、トリガガン、ホース内等に残っている水を確実に抜いてください。

水が残っていると凍結して、故障の原因になります。

1 タンクとトリガガンの水抜きをする

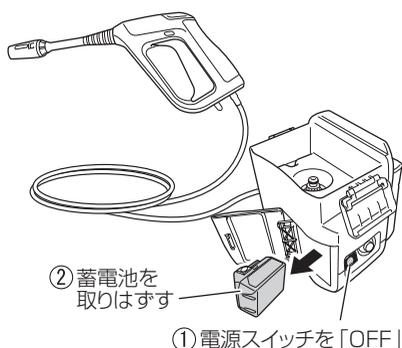
- ①タンクを本体から取りはずします。
水道や溜め水を使用した場合は、ホースをはずします。
- ②本体の電源スイッチを「ON」にします。
- ③トリガガンのトリガを引き、機体内部の水を抜きます。
水の噴射がなくなるまで（10秒～30秒程度）行ってください。



2 電源スイッチを「OFF」にする

- ①本体の電源スイッチを「OFF」にします。
- ②蓄電池を本体から取りはずします。

- 注**・蓄電池は付属の電池カバーを取付けて保管してください。
- ・湯水状態で電源スイッチを入れたままにすると、故障の原因になります。



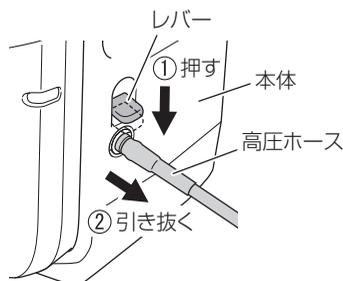
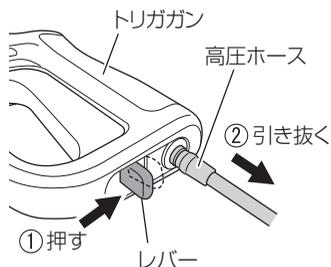
重要

冬期は機体内部に水が残ったままにすると、凍結により内部のポンプやトリガガンが破損する場合があります。



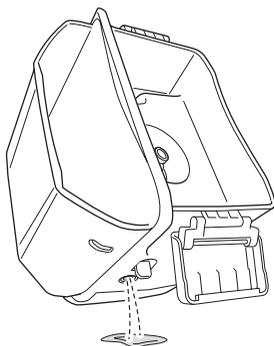
3 高圧ホースを取りはずす

レバーを押しながら、トリガガンおよび本体から高圧ホースを引き抜きます。



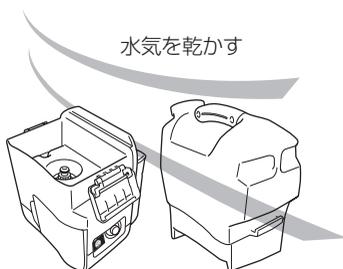
4 内部の水抜きをする

本体を傾けて、内部に残った水を抜き取ります。



5 機体の水気をとる

乾いた布で機体の水気をふき取ります。
風通しのよい日陰で機体に付いた水気を乾かしてから保管してください。



保守・点検

⚠ 警告

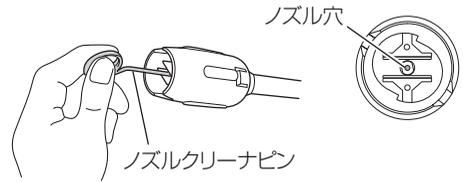
点検・手入れの際は、必ず本体の電源スイッチを切り、蓄電池を本体から取りはずしてください。

●機体、各種ホースの点検

破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

付属のノズルクリーナピンで定期的にノズル穴の掃除を行ってください。

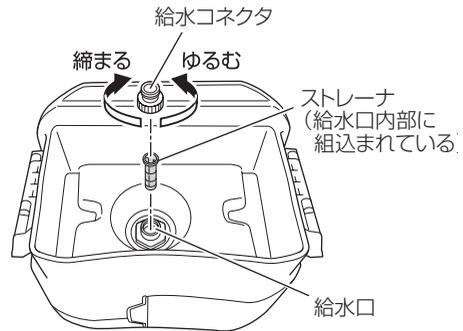
注 トリガガンからはずして、ノズル穴の掃除を行ってください。



●ストレーナの点検

定期的に洗って、網目のつまりを取ってください。

注 ストレーナは先端が平らなラジオペンチなどを使用して給水口内部から引き抜いてください。



●機体はきれいに

石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

●取付けねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締直してください。そのまま使用すると危険です。

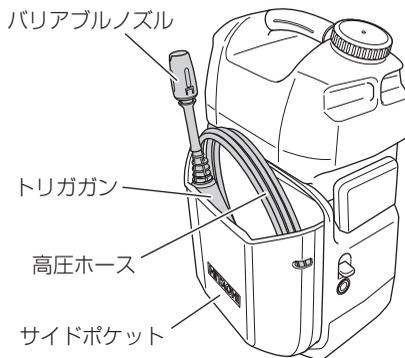
●作業後の収納と保管

機体の収納時や運搬時に付属品を図のように本体に収納することができます。

蓄電池は本体から取りはずし、電池カバーを取付けて保管してください。

本体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所には保管しない。
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

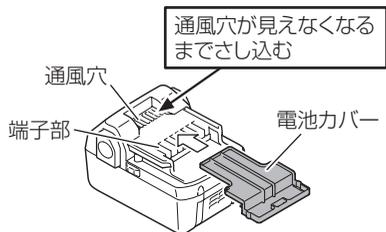


●リチウムイオン電池の保管について

警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材と一緒に保管しないでください。
- 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池は電池カバーを取付けて保管してください。



注 ●長期間(3ヶ月以上)蓄電池を保管するときは、満充電にして保管してください。

長期間、電池残量が少ない状態で保管すると、使用する際に充電できなくなる恐れがあります。

●リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。

蓄電池の残量が少ない状態で長期間保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。

使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2~5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。

充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店にお問い合せください。

症 状	考えられる原因	処 置	
作動しない	電源スイッチが「ON」になっていない	電源スイッチを「ON」にしてください	
	電池の残量がない	充電してください	
トリガガンから水が出ない	ストレーナーが目づまりしている	ストレーナーを取りはずして掃除してください	
	ノズルが異物でつまっている	付属のノズルクリーナピンで掃除してください	
	給水コネクタが緩んでいる	給水コネクタを確認してしっかり締付けてください	
	高圧ホースに水漏れを生じている	接続部を確認してしっかり接続してください 高圧ホースが破損している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください	
水圧が低い	本体またはトリガガンに水漏れを生じている	お買い求めの販売店に修理を依頼してください	
水圧が一定でない	タンク給水	本体とタンクが正しく接続されていない	本体とタンクを確認してしっかり接続してください
水の出方がおかしい		タンクの水が少ない	電源スイッチを切って、すみやかに水を補給してください
モーターがうる	水道接続	タンクのバルブキャップが目づまりしている	バルブキャップを取りはずして掃除してください
		水道水の水量・圧力が低い	ホースの内径が適正か、またねじれがないか確認してください 水道の蛇口を全開にしてください
	溜め水給水	呼び水が十分に行われていない	ホースを溜め水に浸し、ホース内に水(呼び水)を入れてください
		給水口と溜め水の水面の高低差が大きい	最大吸い上げ高さの範囲内に設置してください。
		ホースの内径が適正でない	内径が7.5～9mmのホースを使用してください
モーターが突然止まる	電池の残量がない	充電してください	
	電池が過熱している(電源ランプ点滅)	本体より電池を取りはずして、風通しの良い日陰などで電池を十分に冷ましてください	
	本体に異常がある(電源ランプ速い点滅)	お買い求めの販売店に修理を依頼してください	
放水中、モーターがオンオフを繰り返す	ノズルが異物でつまっている	付属のノズルクリーナピンで掃除してください	
	タンクの水が少ない	電源スイッチを切って、すみやかに水を補給してください	

症 状	考えられる原因	処 置
トリガをはなしても モーターが止まらない または モーターがオンオフを 繰り返す	高圧ホースに 水漏れを生じている	接続部を確認してしっかり接続してください 高圧ホースが破損している場合は、お買い求めの 販売店に修理を依頼してください
	本体またはトリガガンに 水漏れを生じている	お買い求めの販売店に修理を依頼してください
	本体に異常がある	
本体またはトリガガンから 高圧ホースがはずせない または きつい	高圧ホースに圧力がかかっ たままになっている	電源スイッチを切り、トリガを握って 圧力を開放してください

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、
修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店(TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00~17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 5733-0255	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス



右のQRコードをバーコードリ
ーダー機能付きの携帯端末より
読み取ることで、最新の全国営
業拠点をご確認いただけます。



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>